

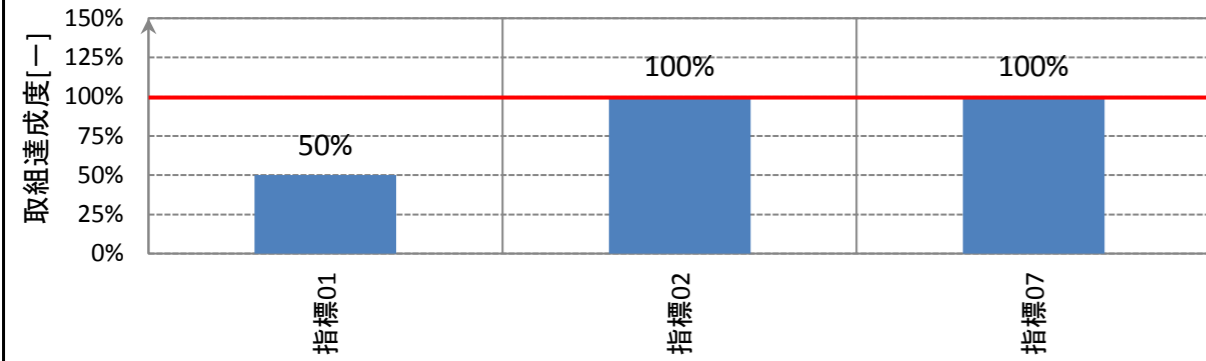
宮城県 東松島市

人口: 40,138人、15,145世帯(平成27年3月末現在)
就業人口: ***人(平成24年3月末現在)、市内GDP: ***兆円(平成23年度)
面積: 101.86km2(うち森林面積27.66km²)

取組進捗評価結果(都市による自主評価に基づく達成度)

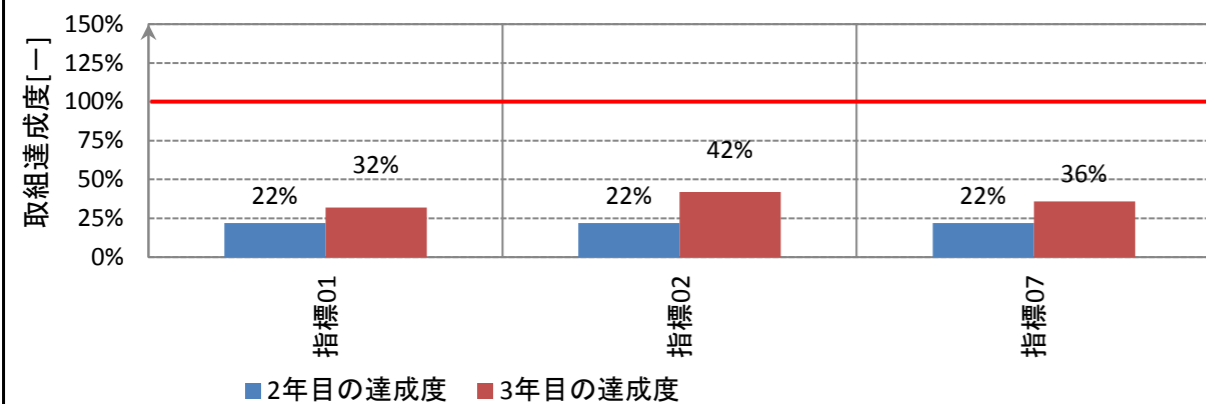
Q1. 環境的価値

1年毎の目標値に対する達成度



3年目の達成度平均 85.7%

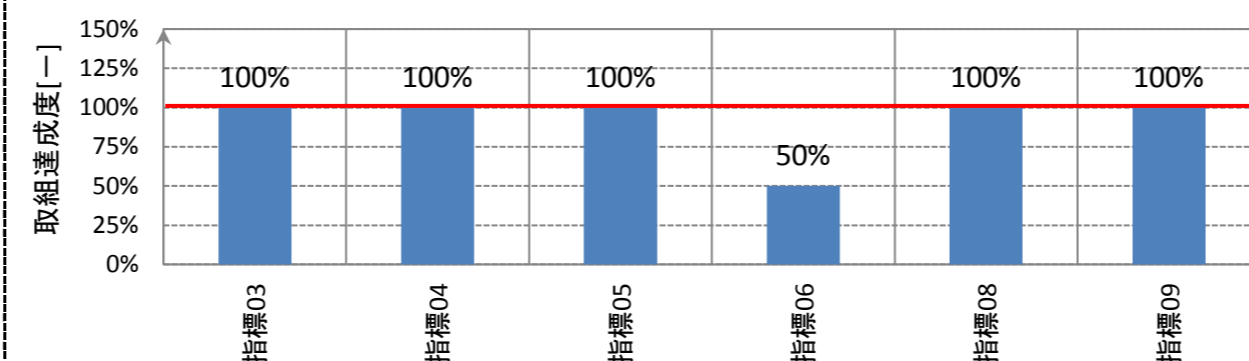
5年後の目標に対する達成度



3年目の5年目標に対する達成度平均 39.7%

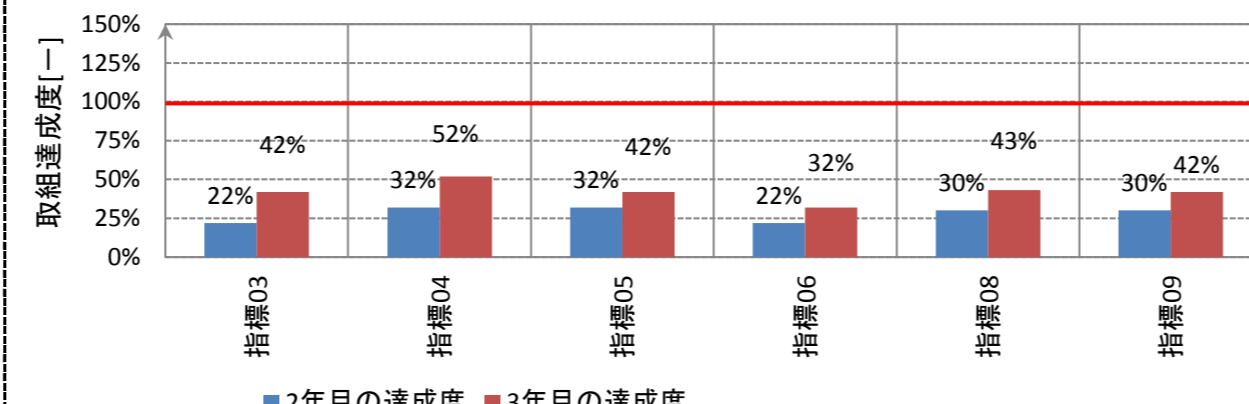
Q2. 社会的価値

1年毎の目標値に対する達成度



3年目の達成度平均 91.7%

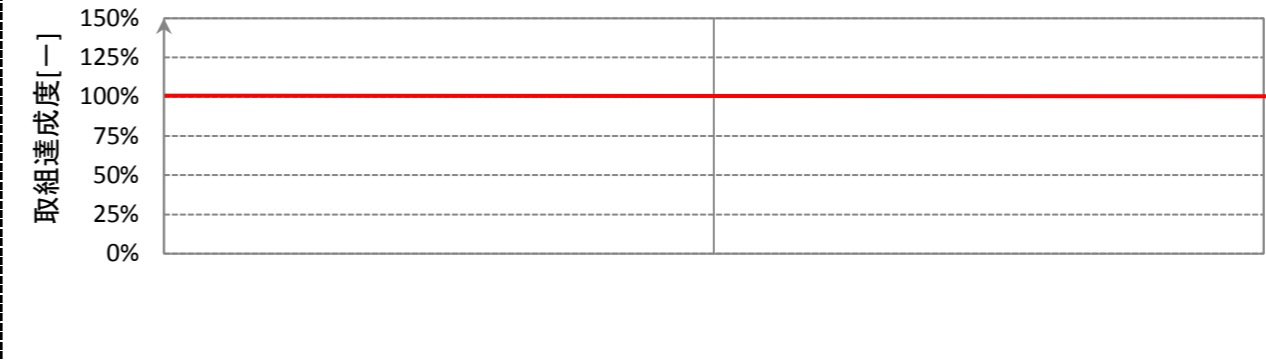
5年後の目標に対する達成度



3年目の5年目標に対する達成度平均 42.2%

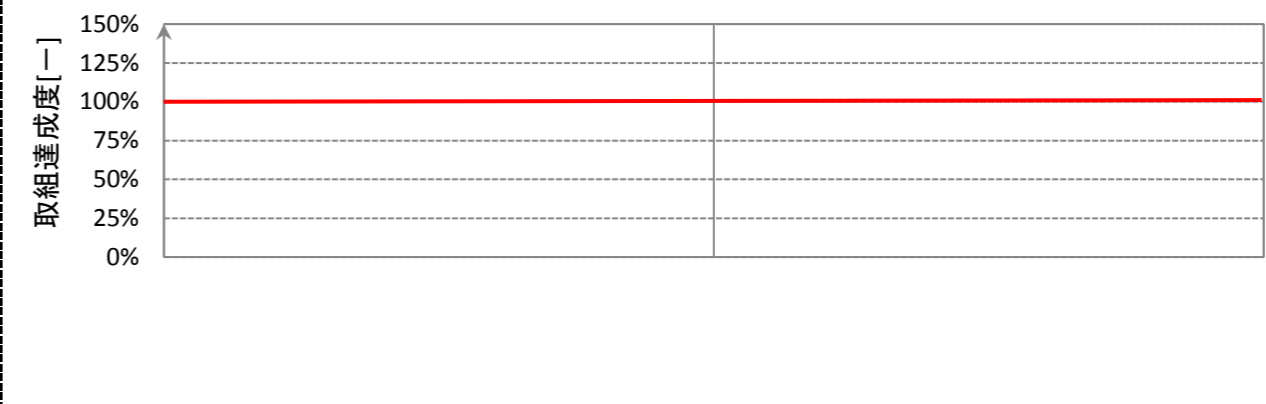
Q3. 経済的価値

1年毎の目標値に対する達成度



3年目の達成度平均 0.0%

5年後の目標に対する達成度



3年目の5年目標に対する達成度平均 0.0%

指標番号

指標名

Q4. 特記したい事項(国際展開・都市間連携等)

平成26年度の取組総括

Table with 2 columns: 指標番号 (Indicator No.) and 指標名 (Indicator Name). Rows include indicators 01 through 09.

Table with 2 columns: 指標名 (Indicator Name) and 特記事項 (Special Notes). Contains detailed notes for each indicator, including international expansion and inter-city cooperation.

Table with 2 columns: 特記事項 (Special Notes) and 取組総括 (Summary of Activities). Contains detailed notes and a comprehensive summary of the city's activities for the fiscal year 2014.

Table with 2 columns: 取組総括 (Summary of Activities) and 委員からの取組全体に関する評価 (Evaluation of Overall Activities by Committee Members). Contains a detailed summary of activities and an evaluation section.

委員からの取組全体に関する評価

別紙参照

委員からのコメント【東松島市】

- 復興事業を順調に進めている。復興を超えた展開が認められる。
- 課題はありながらも全体として、行政、住民の創意により、期待以上の成果を上げている。
- 経済的価値に関する指標を2つ以上設定してほしい。
- 経済的価値の指標が必要。指標があるにもかかわらず、ケアに関する説明がほとんどなく、市が事業者の積極的関与がないのなら保健医療福祉部局の役人との連携を深めたほうがよいと考えます。
- スマート&マイクログリッドとしての最初の例として評価。
- 環境的および社会的価値につながる取組については多数を地道に推進しているが、経済的価値につながる取組に進展はないのか。
- 観光産業でのイノベーションがカギとなると考えられる。（新たな観光価値の創造）
- 着実にFSを重ねて計画を再編・前進させており、被災地を代表するモデル。経済性の観点から風力に見切りをつけるなど、経済性の視点を強く持つだけに、Q3の指標が設定されていないのは残念。
- 着実な進捗を遂げているが、5年後に向けてはまだ道が遠いと思われることから、より具体的なアクションプランを作り、早期の達成を期待したい。国際連携を積極的に進めている点は高く評価したい。
- 国際交流、地域エネルギー事業、HOPEによる事業化など具体的な取組を適正に評価する指標の検討が必要であるとの印象です。環境価値についても市内自然エネルギー発電量、一人当たり温室効果ガスよりもスマート接続戸数などの取組を指標化することが適切であると判断します。野蒜を中核にする、都市居住と、農林業、エネルギーが連関するまちづくりで先導的な役割を期待されると思います。
- いつもなんらかの動きがある。それをより対外的にアピールする必要がある。一見、新しい産業が弱いとも思われるが、精神的癒しを馬、森などで提供することは、十分すばらしい産業と感じている。その点をもっと追求してもいいと感じる。また、ディスカバリーセンターの包括活用も検討するべきだと思う。大事なのは、ホープの独り立ち、新PPSで、これが達成できればよい例となる。
- 経済的価値も指標化してはどうか。（地域活性化物販店舗など）

環境未来都市 PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリスト

作成日：平成27年6月4日
 作成者(部署/氏名)：東松島市復興政策部復興政策課 主任 小野寺 昭博
 承認者(部署/氏名)：東松島市環境未来都市推進室 室長 高橋宗也

確認事項	チェック項目	確認根拠	確認	是正処置
①環境未来都市計画及び目標の策定	環境未来都市計画の各取組に中長期(5年後)および単年度(1年後)の目標が設定されている。	環境未来都市計画書	✓	
	全ての目標値は定量的に評価できる。定量的に評価できない目標値は、その進捗を計測する代替手段がある。	環境未来都市計画書	✓	
	全ての取組においては責任者が定められており、明文化されている。		✓	
②実施体制の構築	構成員間の役割分担・責任分担が明文化された体制図が作成されている。	体制図	✓	
	部局間、事業間の連携を図るために仕組みづくり(一般社団法人東松島みらいとし機構(HOPE)によるマネジメント、東松島市環境未来都市推進WG)が検討されており、かつ実行されている。		✓	
③都市間連携・ネットワークの有効活用	環境未来都市間情報交換会(環境未来都市11都市)、被災地都市間情報交換会(環境未来都市被災地6都市)に関して連携をしている、もしくは今後連携を予定している。		✓	
	成功事例を他へ展開するためにバンダ・アチェ市(インドネシア)、ロラン市(デンマーク)、東松山市(埼玉県)との連携協力を構築している、もしくは今後構築を予定している。	OJT研修生の受け入れ、ロラン市連携協力協定	✓	
④関係者の参画	全体計画の立案から、その実行、見直しの全てのフェーズにおいて関係者が参画している。		✓	
	環境未来都市計画において各取組に参画が必要な関係者が特定されており、明文化されている。		✓	
⑤関連文書の記録・作成	文書の作成者、承認者が決まっている。また文書・記録の管理を実施する責任者が決まっており、明文化されている。	関連文書の記録作成について	✓	
	作成された文書・記録の保管場所・保管期間が決まっており、関係者に周知徹底されている。		✓	
	ウェブサイト等のICTを活用した情報開示を行っている。		✓	市およびHOPEウェブサイトによる情報公開
⑥取組状況の定期的な確認並びに問題の是正および予防	計画の中で、定期的(具体的な回数、2回/年など)に「取組評価」の自主評価が明文化され、かつ実行している。		✓	
	定期的(具体的な回数、2回/年など)な自主評価の結果、目標の達成が難しいと判断された取組に対しては確実に是正処置を施すよう、その確認をする責任者が決められている。		✓	
	計画の中で、毎年PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリストの自主評価が明文化され、かつ実行している。		✓	
⑦代表者による全体の評価と見直し	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。		✓	
	代表者による全体評価において評価すべき項目が決められている			未対応
	前回の代表者による全体評価での指示事項は全て実行されている。		✓	
⑧その他				

是正処置への対応の詳細

東松島市(環境未来都市推進室)と一般社団法人東松島みらいとし機構(HOPE)との間で、PDCAサイクルによる進捗管理及びチェックの体制を構築し、関係者間での共有を図っているとともに、発展的に次年度への取組に反映していくプロセスを構築している。それにより、HOPEの事業会について、その取組の進捗や成果に基づき精査し、当初の枠組みを見直し、総会において理事会の承認を得て、当初の26事業会から16事業会へ集約し、資源の集中

代表者による確認

民間企業等を会員として抱え、事業会・部会としてマネジメントする役割を果たす東松島みらいとし機構(HOPE)と、その進捗状況の管理について、HOPE部会長・HOPE事務局・復興政策課環境未来都市推進室による会議を定期的に開催しており、環境未来都市計画全体の最終的な管理を環境未来

推進委員会による確認

特にご意見なし